



右馬允だま

いつもの5月3日 歌舞伎定例会の日 暑くて暑くて 観てはいらんかいというのに数年の話では別したのか 今年も黄砂かひどく空は雲の重なり 気温も上からず 終演と同時に雨が降り出すという 散散日になつてしまいました 例年を上回るお客様入りにたいした感服 昨年11月に撮った映画の試写会が4日にあるということで 本場の舞台を観たいと訪れていた監督の阪本慎治さんや 主演者の原田芳雄さんのカと大かたのたのたの「大鹿村馬騒動記」7月16日(土) 訂切です 楽しみにして下さい

ス々々雨で 文地と本道も喜んでます 草はひと休みです 雨降りには本気で気分がすっきり 傘をさして庭をみて歩くのが大好きです 清楚なワグ草の目とひまわり、ユウネアオイ、一輪草、延齢草、タイツク草、ツバメオモト 優しい緑の葉に白い花、さくら、白山吹雪、桜、花桃、菜の花、テウリンア、草の色々な色彩から 緑と白だけあつた美しさに移行しています。

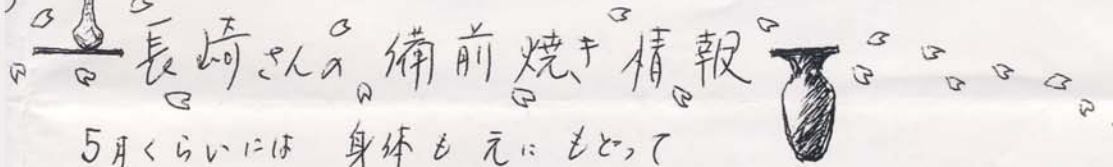
皆様 お愛わり ございますか 今年はいつおと暑くて 雨の降る障子も窓も開けられず おつぱいから ようやく 空気も暖かくなつて 薫風にとう一息というところ

今日の新聞に 正介の祖母 即子様の おひい様にあたる 松尾多勢子様の 記事が あつたので 記録に残したいと思つた。 —5月10日 南信州 日言から—

ちよと 200年前の5月 松尾多勢子が誕生した。

数え52歳で上洛。勳皇の歌詠みはあつた人、ふれにみよ公家の岩倉具視の動静を探る。年配の女性という立場で 得意日和歌を生かして 宮中で諜報活動を繰り広げる。世は 尊王攘夷の嵐が吹き荒れる。22年前 松尾多勢子様の 7月10日の 豊丘村を訪問。アン・ウォルソールさん。やがて可憐な多勢子研究者となるお人です。日本近世民衆史・女性史を専攻し 94年 多勢子の生涯を描いた「たをやめと(千弱せ)と明治維新」の英語版刊行。この時着者52歳。奇しくも多勢子へ京に上つた年齢であつた。女性も50歳を過ぎて初めて見えたものがある。多勢子は 公家たちと前に 堂々と自分の歌を朗詠し、杯をすすめられれば ぐいぐい飲み干す。老齢に達することを楽しみにしていたという。どう若い娘のように 控之めに見せる必要はない。自分のいいことを言うために 酒を飲めると。 —以下略—

人生と言葉の巧みでないと おもしろくありませんね



5月くらいには 身体も元にもどつて 窯にも火が入らるだろうと 予定していましたが 健さんの思われた方には うまくいかないような 右半身のしびれが つかつか としず 来年の1月まで 延ばす決意をされたようです。今は 健さんの 順調な回復を 願い 祈るばかりです。健さんにとって 貴重な時間 お大事にお過ごし下さるよう